

業務のコリをほぐします

EXCEL VBA

実践教室

第5回

牧村 あきこ

MAKIMURA, Akiko

Office Makimura

<http://www.makim.net/>

レジスター仕様の入力画面を作る

タッチパネル風の 入力プログラム

もうずいぶん昔になりますが、当時では東洋一という規模のショッピングセンターのオープンにあわせ、短期のアルバイトをしたことがあります。数日間行なった研修の大半は、レジの操作を覚えるために費やされました。当時は、商品に貼ってある値札の数値を直接打ち込むため、ひたすらテンキーで数値入力の練習をしたものでした。

時代は変わり、いまや大型のスーパーのレジでは読み取りセンサーとタッチパネルによる操作が主流になりまし

た。直接金額を打ち込む機会が減ったことで、入力の手間もずいぶんと軽減されたように思います。

そこで第5回目今回は、Excelでデータ入力を行なう方法の一案として、レジのタッチパネル風の入力画面を作りたいと思います。

プログラム処理 全体の流れ

作成するプログラムの処理の流れを図1に示します。「main」シートには、レジのタッチパネルを再現したボタンが並んでいます。このボタン

をクリックすると、「out」シートに選択した内容のデータが出力されてゆく仕様になっています。

「ボタン」と表現しましたが、これはあくまでもセルの書式を工夫してボタン風に見せているだけで、ボタンではありません。今回は、ボタンを使わずに、ワークシートのイベントを利用してボタン風のセルをクリックされると、特定の処理が実行されるような仕掛けとしました。

入力操作を楽にする 3枚のシート

実は今回のプログラム、コーディング量はそれほど多くありません。その理由は、Excelの基本機能を最大限に利用して、ワークシートに仕掛けを作りこんでいるからです。

サンプルファイル「2006_09_Excel VBA.xls」には、「main」「data」「out」という3枚のシートとプログラムが収められていますので、参考してくだ

レベル >>> Level

1

2

3

4

5

ツール >>> Tool

- Excel 2002
- Excel 2003

言語 >>> Language

- VBA

サンプル >>> Sample

この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、<http://www.shoeisha.com/mag/windev/>からダウンロード可能です。

図1：入力専用画面で簡単にデータを入力する

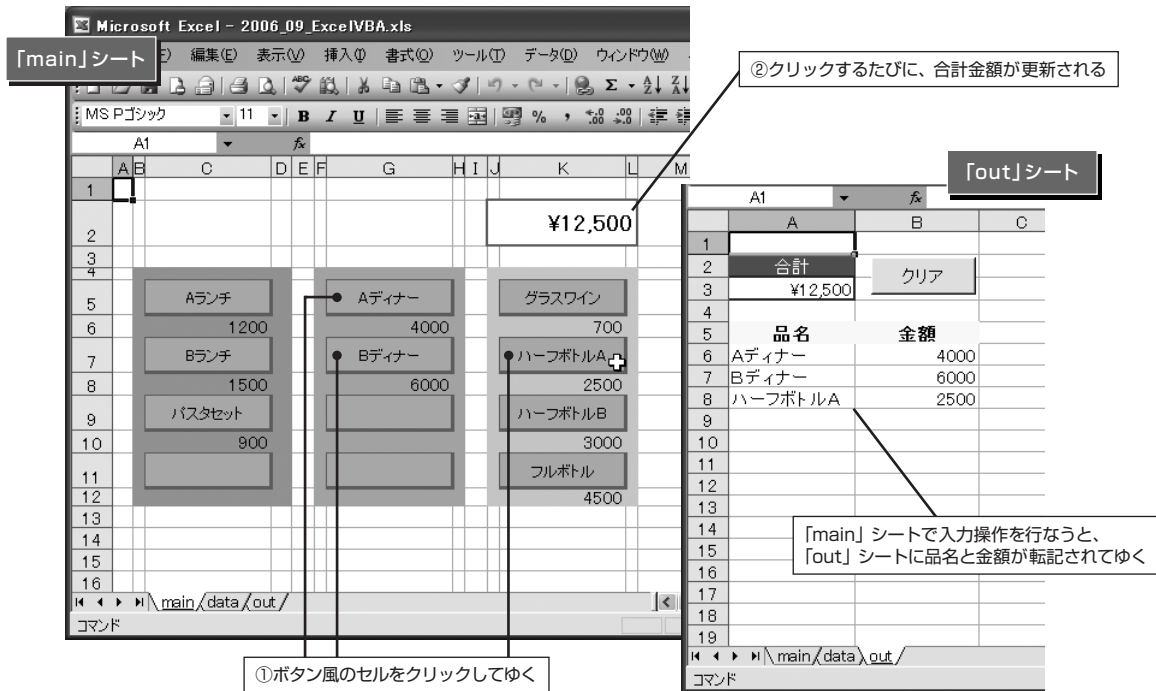
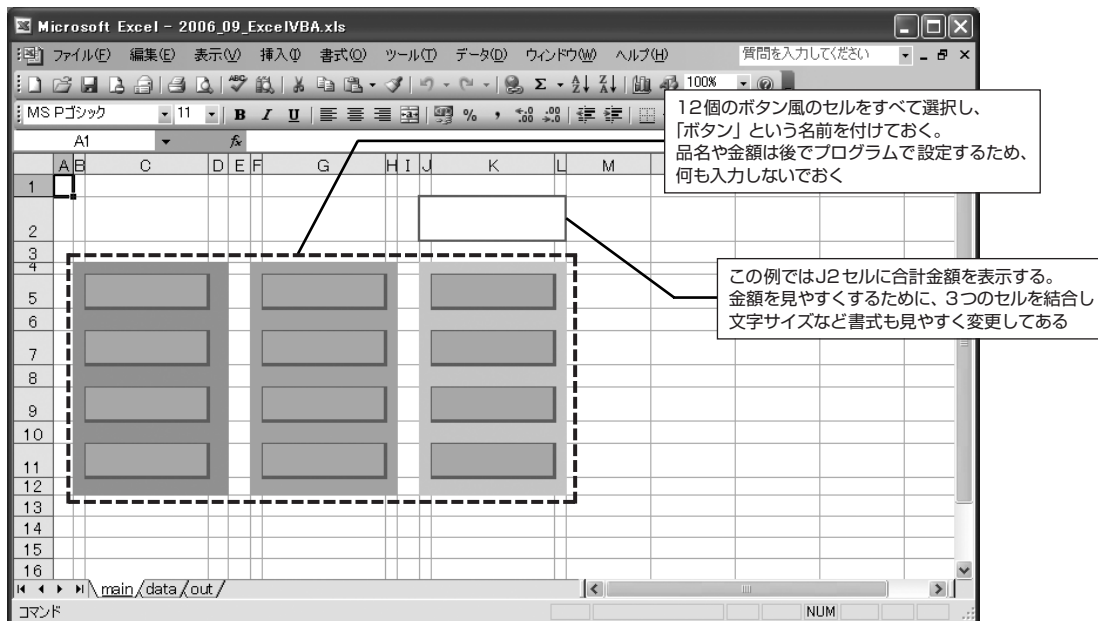


図2：「main」シートを準備する



さい。

◎ データの入力操作を行なうシート

まずは、「main」シートから解説します。

このシートでは、データの入力操作を行ないます。そこで図2のように、セルの書式やレイアウトを適宜変更し、タッチパネル風にデザインします。

このシートの要は、前もってボタンに相当するセルに